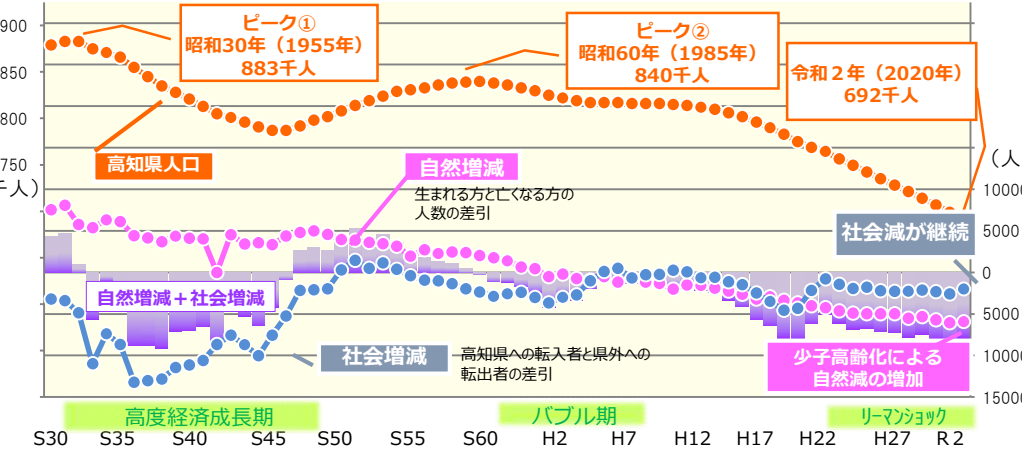


1 高知県の人口見通し等

(1) 高知県の人口推移

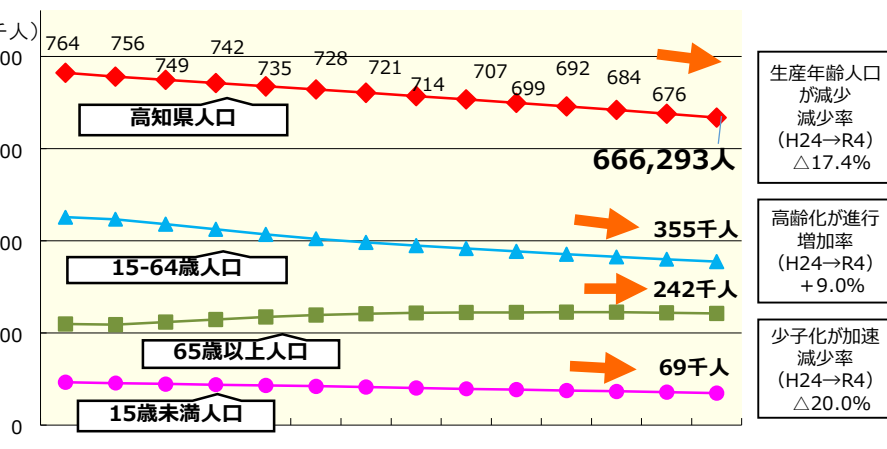
本県の人口は昭和60年以降減少し続け、令和5年10月1日現在の推計人口は、国勢調査が始まった大正9年以降で最少の66万6千人余りとなり、**人口減少の流れに歯止めがかからない状態**。



(資料) 総務省「国勢調査」「人口推計」「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態調査」、高知県統計分析課「高知県推計人口」

(2) 高知県の人口及び年齢3区分別人口の推移

少子高齢化の進行により、**65歳以上の高齢人口が15歳未満人口の3倍以上**。生産年齢人口も**減少の一途**であり、当面、人口減少は避けられない状況。



(資料) 高知県統計分析課「高知県の推計人口」(10月1日現在)

(3) 県内の世帯別集落数の推移

19世帯以下の世帯数の少ない集落が増加し、世帯数の多い集落は減少しており、**集落の小規模化が進んでいる**。

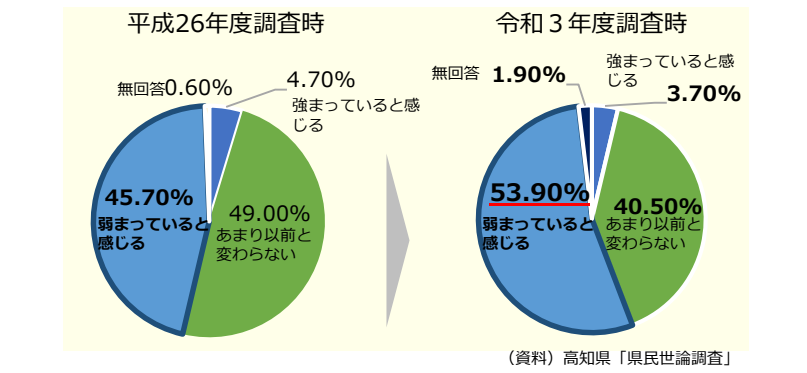
世帯数	H27 集落数(構成比)	R2 集落数(構成比)	増減 (構成比の差)
9以下	288(12.2%)	324(13.8%)	36(+1.6%)
10~19	406(17.2%)	421(17.9%)	15(+0.7%)
20~49	763(32.3%)	757(32.2%)	▲6(▲0.1%)
50~99	490(20.8%)	449(19.1%)	▲41(▲1.7%)
100~299	331(14.0%)	318(13.5%)	▲13(▲0.5%)
300以上	82(3.5%)	82(3.5%)	0(0.0)
合計	2,360(100%)	2,351(100%)	-

旧高知市は、集落ごとの人口及び世帯数の把握が困難なため除く。(資料) 令和3年度高知県集落調査

2 地域の支え合いの力・地域活動など

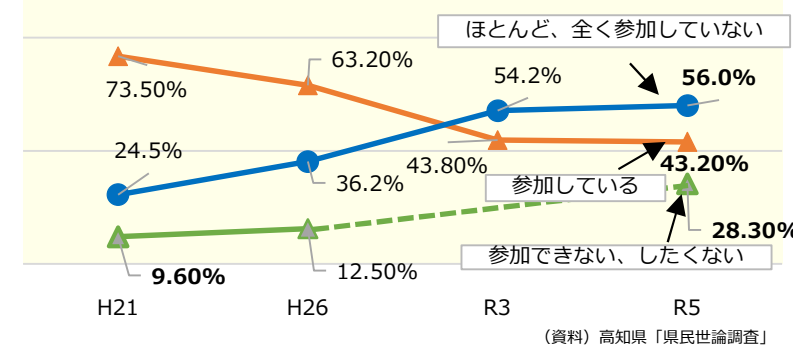
(1) 地域の支え合いの力について

地域の支え合いの力が弱まったと感じる人の割合は45.7%から**53.9%へ上昇**。



(2) 地域の活動への参加について

地域活動への参加率も**15年間で73.5%から43.2%まで大幅に低下**し、地域活動に「**参加できない、したくない**」と答える人の割合が増加。



(3) 複雑化、複合化した課題の顕在化、社会的孤立への懸念

8050問題やヤングケアラーなど**従来の縦割りの制度サービスでは解決が難しい課題が顕在化**。地域のつながりや支え合いの力が弱まる中、こうした課題が解決できず**社会的な孤立に陥るリスク**が高まっている。
令和5年度県民世論調査では、**約2割(19.2%)の方が「家族や親類以外に相談する人がいない」と回答**(社会的孤立に陥るリスクが高い人が一定数存在)。

8050問題
80代の親が50代のひきこもりの子の生活を支える世帯

ヤングケアラー
本来大人が担うとされている家事や介護などを行っている子ども

ダブルケア
子育てと介護を同時に担うこと

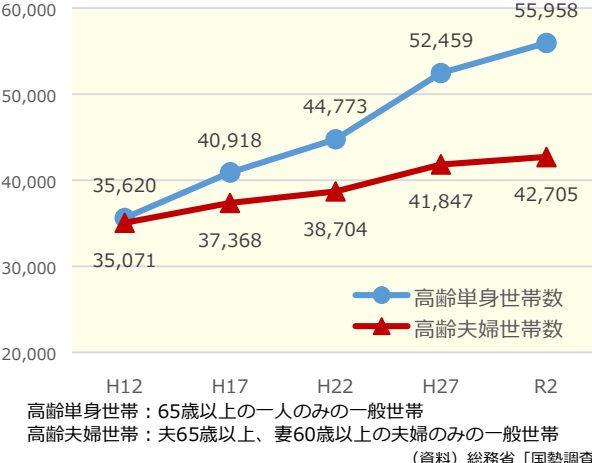
ゴミ屋敷
多頭飼育

社会的孤立

3 高齢者福祉

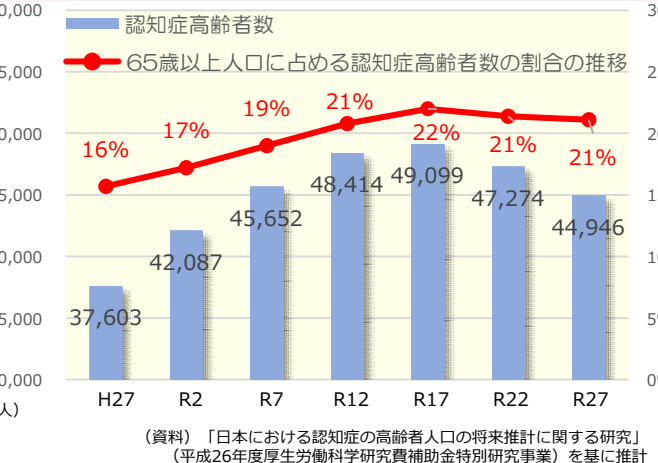
(1) 高知県の高齢者世帯数

高齢単身(独居)世帯数、高齢夫婦世帯数ともに年々増加している。



(2) 高知県の認知症高齢者数の推計

本県の認知症高齢者は令和17年度まで増え続け、**令和7年には65歳以上人口のうち5人に1人が認知症**になると見込まれている。



4 障害者福祉

(1) 障害者手帳所持数とサービス等の推移

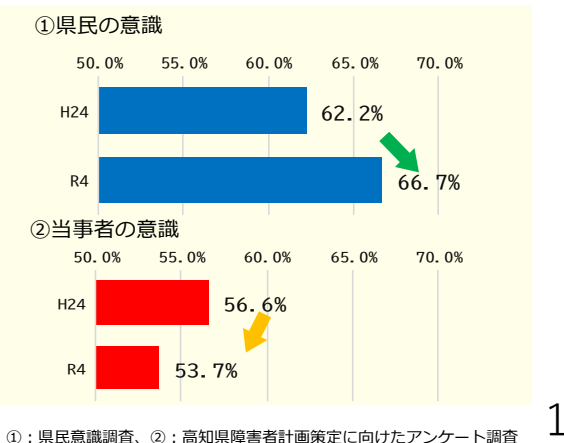
障害のある人の障害特性や支援ニーズが多様化する中、**サービスの利用者数は増加傾向**にある。

	H25	R5	増減
身体障害者手帳	44,934	37,062	△17%
療育手帳	5,906	6,827	+21.8%
精神障害者保健福祉手帳	3,961	7,218	+82.2%

障害福祉サービス等	延べ利用者数(H27.9)	延べ利用者数(R4.9)
障害福祉サービス等	1,196	4,370
居宅介護等	2,564	4,942
入所・GH	2,675	4,942
通所サービス	1,179	4,942

(2) 障害のある人への周りの理解

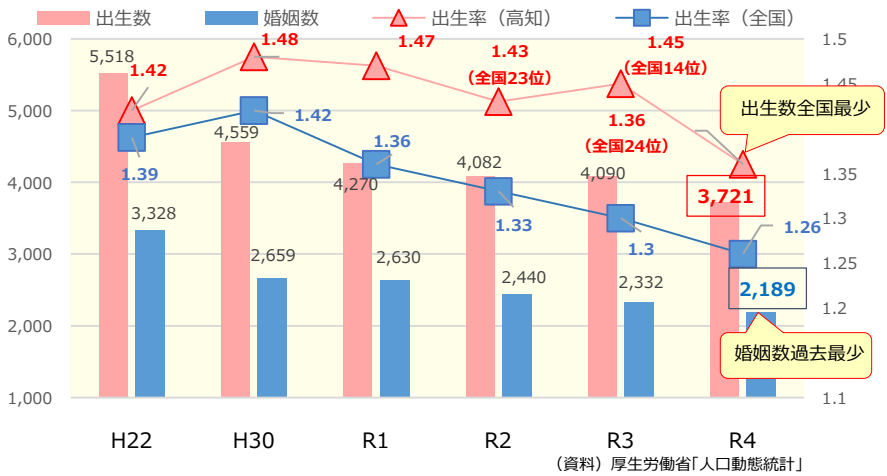
「障害のある人への周りの人の理解」については、県民全体では進んでいると感じているが、**当事者は十分に進んでいるとは感じていない**。



5 子ども・子育て

（1）高知県の出生数・婚姻数・出生率の推移

これまでの子育て支援策の取り組みにより、**出生率は全国よりも高い水準で推移している**。一方、**令和4年の出生数は、全国最少という衝撃の結果**となった。その最も大きな要因は若年層（特に女性）の減少にあると考えられる。

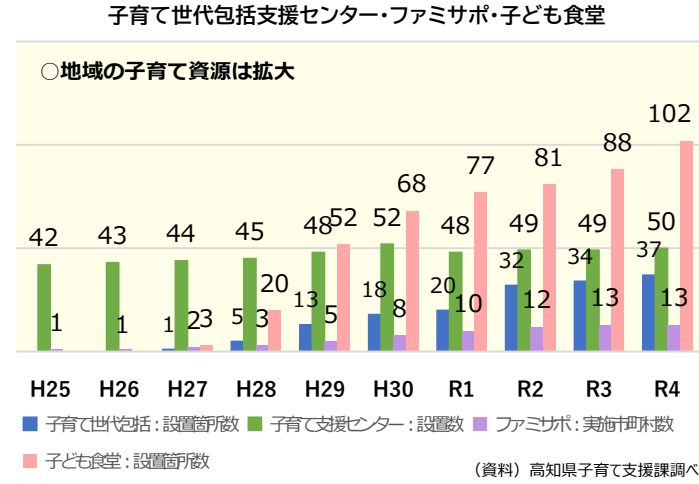
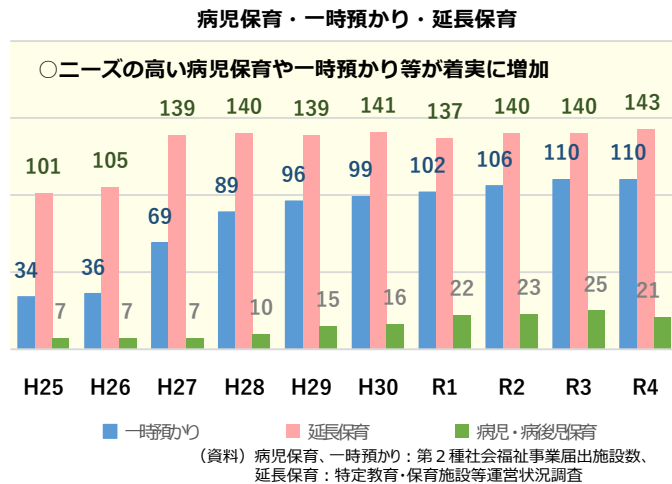


(参考) R2時点の状況

- 若年(20-39歳)女性人口減少率(H22-R2) : ▲28.2%, 全国ワースト4位 [全国: ▲20.6%]
- 婚姻数(H22-R2) : ▲26.7%, 全国ワースト24位 [全国: ▲25.0%]
- 出生率: 1.43, 全国23位 [全国: 1.33]

（2）これまでの子育て支援策の充実

人口当たりの箇所数は、病児保育2位、障害児保育は1位となるなど、安心して子育てできるサポート体制が充実してきた。子育て世代包括支援センター、ファミリー・サポート・センター、子ども食堂など、**地域の子育て資源も拡大している**。



5 子ども・子育て

（3）児童福祉

児童虐待の対応件数は令和2年度に過去最多となるなど、依然として高い水準にある。子どもとその家庭及び妊産婦等を対象として、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行う「**子ども家庭総合支援拠点**」の設置は着実に進んでいる。里親の登録者数や里親等への養育の委託率は徐々に拡大している。

○ 児童虐待相談受付件数と相談対応件数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
受付件数	595	697	799	655	726
対応件数	420	458	583	452	501

○ 子ども家庭総合支援拠点の設置数の推移

	R1	R2	R3	R4
設置市町村数	2	5	12	20

○ 里親等委託率等の推移 ※ファミリーホームを含む(各年度末現在)

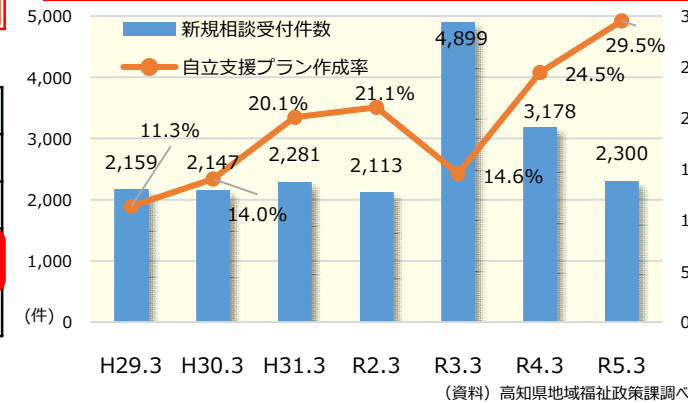
区分	H30	R1	R2	R3	R4
里親登録数(組)	78	89	97	118	133
委託児童数(人)	69	75	74	91	104
里親等委託率(%) (高知県)	19.0	20.3	20.5	24.8	28.8
(全国)	20.5	21.5	22.8	23.5	(未公表)

(資料) 高知県子ども家庭課調べ

6 生きづらさや困難を抱える人たちへの支援

（1）生活困窮者支援の状況

新型コロナウイルス感染症の影響でR3年度に相談件数が増加した。自立支援プラン作成率は上昇傾向にある。



（2）ひきこもり支援の状況

地域の多機関協働による支援体制(市町村プラットフォーム)の整備が進み、新規相談件数も増加傾向にある。

	R2年度	R3年度	R4年度
新規相談件数	152件	284件	255件
プラットフォーム設置市町村数	10市町村	22市町村	25市町村

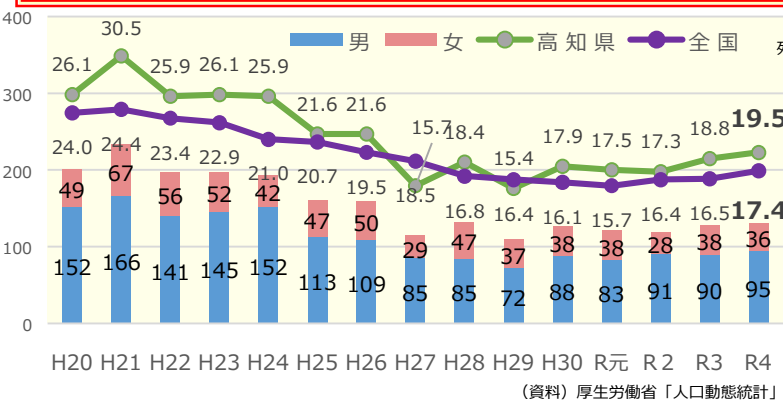
<広報に千原ジュニアさんを起用>
本県では、県内すべての市町村でひきこもりの相談窓口が開設され、千原ジュニアさんが掲載されたリーフレットやホームページで公開。

(資料) 高知県地域福祉政策課調べ

6 生きづらさや困難を抱える人たちへの支援

（3）自殺者数・自殺死亡率の推移

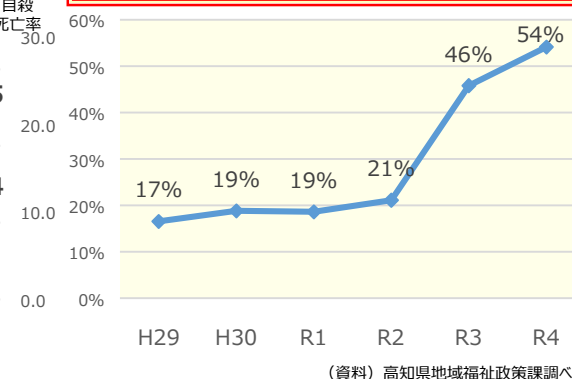
自殺死亡率は全国を上回っている。女性よりも男性の自殺者が多い傾向にある。



7 災害時要配慮者対策

個別避難計画の作成率の推移

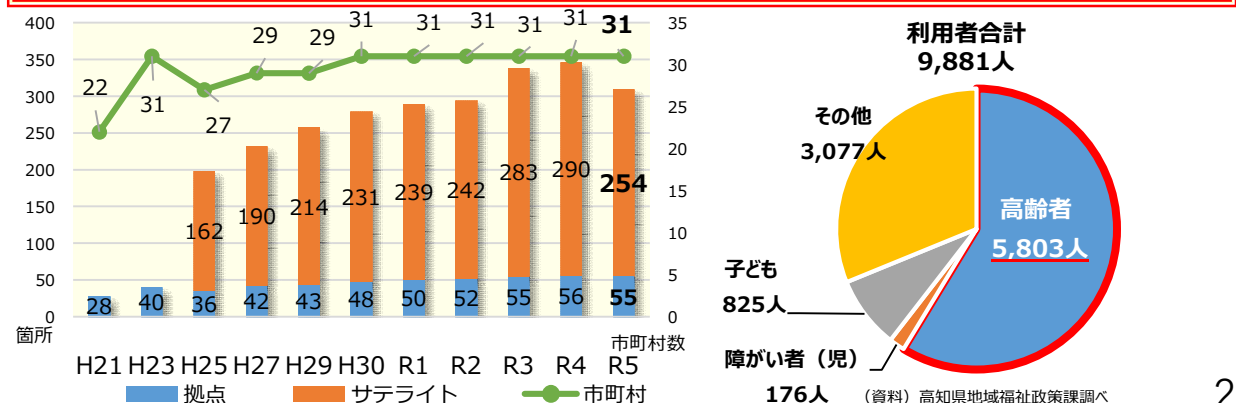
災害発生時の避難に支援が必要な方の「命を守る」対策として市町村の個別避難計画の作成の取り組みを強力に後押しした結果、**作成率が大きく上昇**。



8 基盤づくり(あったかふれあいセンター)

（1）拠点数等の推移

あったかふれあいセンターは、R5時点で31市町村、55拠点254サテライトとなり、**ほぼ県内全域に整備されたが、利用者の半数以上が高齢者**であり、幅広い世代の利用につなげるための機能充実が課題。



8050問題やヤングケアラーなど、縦割りの制度サービスでは解決できない複雑化、複合化した課題が顕在化。加えて、少子高齢化や核家族化、コロナ禍を契機としたデジタル化の進展に伴う人と人との交流機会の減少などにより、地域のつながりや支え合いの力が弱まっている。

こうした課題に対応するため、第4期計画ではこれまで取り組んできた「高知型福祉」を継承・発展させる形で「高知型地域共生社会の実現」をオール高知で取り組む。

目指す姿

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県



【計画の理念】誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会



高知家地域共生社会シンボルマーク
県民みんながお互いに寄り添い支え合うことで、安心して暮らし続けることができる『高知家地域共生社会』の実現につながることを「こうち」の文字で表現

根拠法令	社会福祉法第108条に基づく法定計画	計画期間	4年間（R6～R9）
------	--------------------	------	------------

計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における地域福祉を推進するための基本方針であるとともに、各福祉分野が共通して取り組むべき事項を記載する福祉分野の上位計画。 ○ 計画の策定に当たっては、「日本一の健康長寿県構想」など関係する計画との整合性をとることによって福祉・保健・医療及び生活関連分野との連携を確保。 ○ 高知県社会福祉協議会が住民や関係者ととも策定・推進する地域福祉活動支援計画と連携して策定。
---------	--

計画策定の目的	地域特性や独自性を尊重し、 市町村が 地域住民の皆さんや社会福祉協議会、民生委員・児童委員、民間事業者、NPO、社会福祉団体など多様な主体とともに福祉ニーズや地域生活課題に対応しながら 地域福祉を進める取り組みを支援 する。
---------	--

計画の基本項目

以下の3本柱で、それぞれの取り組みを推進

- ※第3期は、①地域の実情に応じた地域福祉の推進、②地域福祉を推進する基盤の確保 の2本柱
- ①行政主体の「**「高知型地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制づくり**（「たて糸」の取り組み）」
- ②地域主体の「**「高知型地域共生社会」の実現に向けたつながりを実感できる地域づくり**（「よこ糸」の取り組み）」
- ③「**高知型地域共生社会を支える人づくり・基盤づくり**」

改定のポイント

- ① **誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会の実現を基本理念として掲げ、オール高知で地域福祉を推進**
 - 今後さらに加速する超高齢化社会と少子化の進展や担い手の急減に加えて、顕在化する複合課題と地域のつながりや支え合いの力の弱まりへの対応が必要。
 - そのため、これまでの「高知型福祉」の取り組みを継承・発展させる形で「高知型地域共生社会の実現」を分野横断的な政策目標として掲げる。
 - オール高知で地域福祉を推進するために、市町村が策定する「地域福祉計画」や高知県社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動支援計画」との整合を図る。
- ② **日本一の健康長寿県構想の第5期改定と連動し、「目指す姿」を明確に打ち出し、成果にこだわる取り組みを推進**

第5期構想（案）

- 【目指す姿】県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県
- 柱Ⅰ 健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進**
【目指す姿】県民が長く健康で生き生きと元気で暮らし続けている
- 柱Ⅱ 地域で支え合う医療・介護・福祉サービス提供体制の確立とネットワークの強化**
【目指す姿】中山間地域を含め、在宅での生活を希望される方が求められるサービスを受けられる
- 柱Ⅲ 子どもまんなか社会の実現**（子どもたちを守り育てる環境づくりと少子化対策を一体的に推進）
【目指す姿】「共働き、共育て」が定着し、結婚、出産・子育ての希望が叶えられ、「孤」育てを感じさせない社会になっている
- 柱Ⅳ 高知型地域共生社会の推進**（分野横断的な柱として位置付け）
【目指す姿】複合課題への対応力と地域の支え合いの力が高まり、孤独を感じる人が減っている

- ③ **福祉関係計画との一体的な展開や県の基本施策との整合を意識した計画改定**

高知県元気な未来創造戦略（案）（R6.1.19）

- 人口減少による負の連鎖の克服を目指して、「若年人口の増加」、「婚姻数の増加」、「出生率の向上」に向けた施策を抜本強化。
- あわせて、政策実現に向けた条件整備として、「**地域社会における固定的な性別役割分担意識の解消**」を図るとともに、**若者の流出が顕著な「中山間地域の持続的な発展」**につなげる。
- こうした政策を県や市町村、関係団体、県内企業が一体的に進めることで、**若者にとって魅力があり、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望が叶う地域社会**を目指す。

高知県中山間地域再興ビジョン（素案）（R5.12.20）

- 10年後の将来ビジョン：**居住地における在宅介護サービスの提供100%**
- 主要なアクションプランKPI(4年後)：**あったかふれあいセンターの利用者数20,000人/年、不足が見込まれる介護職員の充足率100%**

- ④ **社会福祉法人の公益的な取り組みの充実や社会福祉法の改正など、地域福祉を取り巻く環境変化を反映**
- ⑤ **「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を実現するためのSDGsの17の目標と関連づけた施策の推進やデジタル化の進展など、社会経済情勢の変化を反映**

＜地域福祉支援計画と他計画との関連＞



＜関連する計画と計画期間＞

分野	計画名	R4	R5	R6	R7
福祉全般	地域福祉支援計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）	
子ども・子育て	子どもの貧困対策推進計画	現計画（R2～R6）		改定計画（R7～） ※各計画を包含した「こども計画」を策定（終期含めて検討）	
	子ども・子育て支援事業支援計画、次世代育成支援行動計画	現計画（R2～R6）			
	ひとり親家庭等自立促進計画	現計画（H29～R6）			
高齢	高齢者保健福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）	
	介護保険事業支援計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）	
障害	障害者計画	前計画（H25～R4）	現計画（R5～R11）		
	障害福祉計画・障害児福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）	
	ギャンブル等依存症対策推進計画	現計画（R4～R5）		改定計画（R6～R11） ※一体的に策定	
	アルコール健康障害対策推進計画	現計画（H30～R5）			
その他	自殺対策行動計画	前計画（H29～R4）	現計画（R5～R9）		
	再犯防止推進計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R10）	
	中山間地域再興ビジョン	-		新規策定（R6～R9）	
	南海トラフ地震対策行動計画	現計画（R4～R6）		改定計画（R7～R9）	
	教育等の振興に関する施策の大綱	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）	

【計画の理念】誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会



柱Ⅰ 「高知型地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制づくり

目指す姿	誰一人、制度サービスの狭間に陥ることがないよう、市町村の複合課題への対応力が向上し、各分野で業務効率化が図られている	【主要目標】 ・包括的な支援体制を整備している市町村数
たて糸	● 県や市町村による公的支援に加え、社会福祉法人や民間企業などが提供する制度サービスも含む取り組み ● 各分野の支援プロセスに、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに取り組む「包括的な支援体制」を活用	

高齢者・障害者への支援	目指す姿	中山間地域を含め、高齢者が住み慣れた環境で安心して健やかに、ともに支え合いながらいきいきと暮らし続けることができる高知県になっている	【主要目標】 ・要介護度3以上の在宅率 ・介護サービスが充足していると感じている人の割合 ・中山間地域での在宅介護サービスの提供率
	目指す姿	障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていける高知県になっている	【主要目標】 ・障害のある人の地域生活の支援体制が整備されている市町村数
	目指す姿	安心して「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっている	【主要目標】 ・子ども家庭センターの設置（統括支援員） ・ファミリー・サポート・センター事業の提供会員数 ・里親等委託率 ・ひとり親家庭相談支援センターへの相談件数
こどもまんなか社会の実現	目指す姿	子どもたちが誰一人取り残されず、夢と希望を持って成長できる環境が整っている	【主要目標】 ・子ども家庭センターの設置（統括支援員） ・ファミリー・サポート・センター事業の提供会員数 ・里親等委託率 ・ひとり親家庭相談支援センターへの相談件数
	目指す姿	安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくりの更なる強化	【主要目標】 ・子ども家庭センターの設置促進による包括的な相談支援体制の整備 ・不妊治療や産後ケア事業の利用促進
	目指す姿	厳しい環境にある子どもたちへの支援	【主要目標】 ・児童虐待の発生予防、早期発見に向けた相談支援につながる仕組みづくり ・里親支援や社会的養護経験者の自立支援など社会的養育の充実 ・「ひとり親家庭支援センター」による就業支援等の充実
生きづらさや困難を抱える人への支援	目指す姿	生活困窮者やひきこもりの方など生きづらさを抱える人などが、必要な支援を受け、孤立することがない社会になっている	【主要目標】 ・生活困窮者自立支援計画（プラン）の策定率 ・居場所等の支援につながった件数 ・ゲートキーパーの養成人数
	目指す姿	生活困窮者への支援	【主要目標】 ・生活困窮者の自立相談支援体制の充実・強化
	目指す姿	ひきこもりの人等への支援	【主要目標】 ・ひきこもりの方やその家族への包括的な支援体制の整備や居場所づくりの推進

柱Ⅱ 「高知型地域共生社会」の実現に向けたつながりを実感できる地域づくり

目指す姿	地域で孤独を感じることなく、一人ひとりが住み慣れた地域で、健やかに心豊かに安心して暮らし続けることができる高知県になっている	【主要目標】 ・孤独を感じる人の割合 ・社会活動参加率
よこ糸	● 社会福祉法人や民間企業・団体、NPO、地域住民等、様々な主体の参画による地域活性化等の取り組み ● 各分野で官民協働の取り組みを進め、オール高知でつながりを実感できる地域づくりを推進	

高齢・障害分野の取り組み	目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続け、また、地域を支える一員として元気に活躍できる社会になっている	【主要目標】 ・新規要介護認定者の平均年齢 ・通いの場への参加率 ・ICTを活用した高齢者見守りネットワークを整備している市町村数
	目指す姿	社会全体で障害や障害のある人への理解を深め、一人ひとり必要な配慮ができるようになるとともに、障害のある人の希望や特性等に応じた多様な働き方が実現できる社会になっている	【主要目標】 ・障害者差別解消法の認知度 ・農業分野で就労する障害者等の人数 ・平均工賃月額
	目指す姿	社会全体で子育てを応援する環境と子育てが定着し、「孤」育てを感じさせない社会になっている	【主要目標】 ・安心して「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」ができる社会になっている（県民意識調査） ・男性の育児休業取得率 ・ファミリー・サポート・センター提供会員数（再掲） ・こども子育て応援の店の登録店舗数
こどもまんなか社会の実現に向けた取り組み	目指す姿	社会全体で子育てを応援する環境と子育てが定着し、「孤」育てを感じさせない社会になっている	【主要目標】 ・安心して「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」ができる社会になっている（県民意識調査） ・男性の育児休業取得率 ・ファミリー・サポート・センター提供会員数（再掲） ・こども子育て応援の店の登録店舗数
	目指す姿	住民参加型の子育て支援の推進	【主要目標】 ・共働き・子育ての支援につながるファミリー・サポート・センター事業や育児経験者による敷居の低い相談体制などの拡大 ・子育て応援パスポートアプリの利用者拡大と子育て支援サービスの充実 ・子育て支援サービスの提供や商品開発など「こどもまんなか社会」を促進する企業向けの支援制度の検討 ・子ども食堂の立ち上げ・運営に対する助成による取り組みの拡大
	目指す姿	地域の多様な主体の参画と、つながりの再生に向けたネットワークが構築されている	【主要目標】 ・ソーシャルワークの網の目構築プロジェクトの推進 ・民生委員児童委員の担い手確保に向けた普及啓発等の取り組みの強化 ・地域見守り協定等の拡大による見守りネットワークの重層化 ・地域共生社会推進宣言企業や団体によるネットワークの構築と横展開 ・社会福祉法人等における社会貢献活動の推進 ・災害時の共助の取り組み強化に向けた自主防災の組織化や、訓練の実施・マニュアルのバージョンアップ等による災害ボランティアセンターの体制強化 ・人権を尊重し認め合う共生の意識の浸透
その他多様な主体の参画による「よこ糸」の取り組み	目指す姿	地域の多様な主体の参画と、つながりの再生に向けたネットワークが構築されている	【主要目標】 ・コミュニティソーシャルワーカー養成数 ・「高知県」地域の見守り活動に関する協定締結企業数 ・「高知家地域共生社会推進宣言」企業・団体数 ・自主防災組織の活動実施率
	目指す姿	生活困窮者やひきこもりの方など生きづらさを抱える人などが、必要な支援を受け、孤立することがない社会になっている	【主要目標】 ・生活困窮者自立支援計画（プラン）の策定率 ・居場所等の支援につながった件数 ・ゲートキーパーの養成人数
	目指す姿	生活困窮者への支援	【主要目標】 ・生活困窮者の自立相談支援体制の充実・強化

柱Ⅲ 「高知型地域共生社会」を支える人づくり・基盤づくり

目指す姿	多様な人材が支え手となって地域で活躍し、必要な福祉・介護職員が確保されている	【主要目標】 ・福祉教育・ボランティア学習における協同実践に取り組む市町村数 ・不足が見込まれる福祉・介護職員の充足率 ・介護事業所のICT導入率 ・認証福祉・介護事業所数
目指す姿	世代や属性を超えて、地域の多様な方が幅広くつながり、支え合う地域資源が整備されている	【主要目標】 ・あったかふれあいセンターの地域の居場所としての参加人数 ・あったかふれあいセンターのWi-Fi環境整備拠点数